

## 第 16 期 事業報告書及びその附属明細書

自 2025 年 4 月 1 日

至 2026 年 3 月 31 日

### I. 事業内容

「スポーツ、教育の振興に関する事業を行い、明るく豊かな国民生活の形成に寄与する」ことを目的として、「スポーツ・教育関連施設の設置、運営」、「スポーツ・教育等合宿の受入れ」「スポーツ交流プロジェクトの推進」、「その他この法人の目的を達成するために必要な事業」を行いました。

### II. 当期事業の概況

事業計画及び収支予算、設備投資（以下略称 NSP:那須スポーツパーク、戸田:戸田艇庫）

#### 【利用者数】

(単位:人)		2024年度 実績	2025年度 計画	2025年度実績				
				前年比	増減	計画比	増減	
那須 スポーツ パーク	宿泊	15,094	17,100	14,030	93.0%	-1,064	82.0%	-3,070
	日帰り	25,262	30,000	22,419	88.7%	-2,843	74.7%	-7,581
	合計	40,356	47,100	36,449	90.3%	-3,907	77.4%	-10,651
戸田艇庫	宿泊	3,247	3,090	3,110	95.8%	-137	100.6%	+20
	日帰り	1,990	1,960	2,326	116.9%	+336	118.7%	+366
	合計	5,237	5,050	5,436	103.8%	+199	107.6%	+386
合計	宿泊	18,341	20,190	17,140	93.5%	-1,201	84.9%	-3,050
	日帰り	27,252	31,960	24,745	90.8%	-2,507	77.4%	-7,215
	合計	45,593	52,150	41,885	91.9%	-3,708	80.3%	-10,265

# 報告事項 1

## 2025年度 スポーツ交流プロジェクト実施実績

イベント名	主催	日程	曜日	開催場所	イベント参加者数	ボランティア参加者・人数	活動補助金額	内容
JOCジュニアオリンピック夏季水泳大会 東京予選会	公益財団法人東京都水泳協会	2025/7/27	日	アクアティクスセンター	約3400名	東京海上日動・G会社社員 5名	-	ジュニアオリンピック水泳大会会場で大会運営をサポート、 選手の招集業務等を担当
JOCジュニアオリンピック夏季水泳大会 本大会	公益財団法人日本水泳連盟	2025/8/24	日	アクアティクスセンター	約3000名	東京海上日動・G会社社員 5名	-	ジュニアオリンピック水泳大会会場で大会運営をサポート、 選手の誘導等を担当
世田谷区バスケットボールフェスティバル	東京海上日動バスケット部・ 世田谷区ミニバス委員会	2025/12/7	日	世田谷区総合運動公園	約800名	東京海上日動バスケット部	-	世田谷区ミニバス委員会等と共同でフェスティバルの運営を サポート、優勝チームへの賞品提供やバスケット部公式戦を実施
江戸っ子杯バレーボール新人戦	東京都社会福祉協議会児童部会	2025/12/20	土	石神井スポーツセンター	25名	東京海上日動バレー部 14名	¥8,644	都内近郊の児童養護施設が参加する大会において、バ レー部員が技術指導や大会運営サポートを担当
サッカー交流会	東京海上日動サッカー部	2026/1/24	土	多摩グラウンド	24名	東京海上日動サッカー部 13名	¥44,250	都内近郊の児童養護施設の児童・職員を対象に、サッカー 教室と懇親会を実施
東京海上フィルハーモニックオーケストラ 定期演奏会	東京海上日動オーケストラ部	2026/2/14	土	みなとみらいホール	約1300名	東京海上日動オーケストラ部	-	会場で募金活動実施、募金は日本赤十字社とスペシャルオリ ンピックス日本へ半額ずつ寄付
JOCジュニアオリンピック春季水泳大会 東京予選会	公益財団法人東京都水泳協会	2026/3/1	日	アクアティクスセンター	約1800名	東京海上日動・G会社社員 3名	-	ジュニアオリンピック水泳大会会場で大会運営をサポート
栃木SCサッカー教室	公益財団法人東京海上スポーツ財団 那須スポーツパーク	2026/3/7	土	那須スポーツパーク	110名	栃木SC選手 3名	-	地元大田原市の小学生を対象に、栃木SC選手によるサッ カー教室を開催
スペシャルオリンピックス日本・東京 ボート体験会	東京海上日動ボート部	2026/3/20	祝	戸田艇庫	7名	東京海上日動ボート部 TVBC 計15名	¥37,763	スペシャルオリンピックスのアスリートを対象に、4人で漕ぐ ナックルフォアの乗艇体験と懇親会を実施
JOCジュニアオリンピック春季水泳大会 本大会	公益財団法人日本水泳連盟	2026/3/29	日	アクアティクスセンター	約3500名	東京海上日動・G会社社員 4名	-	ジュニアオリンピック水泳大会会場で大会運営をサポート

### 1. スポーツ・教育関連施設の設置、運営及びスポーツ・教育等合宿の受入れ

#### (1)NSP

今期も団体を中心にサッカーや野球等のスポーツ合宿を受入れ、教育合宿は350人規模の都立高校ホームルーム合宿や栃木県大田原市が企画する農村体験学習ツアー参加の都内小学生、国立・私立・医科大学等のゼミ合宿を受入れました。スポーツ・教育合宿の受入れ宿泊者数は9,371人(前年比90.4% ▲972人)となりました。それ以外にNSPで開催されるサッカー大会参加者の宿泊やテニスの個人利用、東京海上グループ社員・OB・OG利用、OTA※等を加えた宿泊利用者の合計は14,030人(前年比93.0% ▲1,064人)となりました。

※OTA:Online Travel Agent の頭文字の略。インターネット上で取引を行う旅行社のこと。

#### (2)戸田

今期も神奈川県私立高校ボート部の合宿で延べ1,000人を超える宿泊者を受入れました。三菱艇庫宿泊受入れ中止に伴い、三菱系企業の宿泊利用が増え、貸艇・オール利用にも繋がりました。全国の学生・社会人ボート競技者が合宿や大会参加拠点として利用する他、教育合宿として私立大学法学部教授が2年連続で新入ゼミ学生を対象に1泊2日のボート体験会を開催しました。

#### (3)全体

NSPは小学生から高齢者にいたる幅広い層のスポーツ合宿や競技大会、大学のゼミ活動や小中学生就労・農村体験等の教育合宿を受入れました。戸田は主にボート競技を行う学生や社会人の合宿・大会参加拠点として利用され両施設合計で宿泊利用者17,140人(計画比84.9% ▲3,050人)、日帰り利用者24,745人(計画比77.4% ▲7,215人)の受入れとなりました。

### 2. スポーツ交流プロジェクト

スポーツを通じた青少年の育成、高齢者の健康増進、障がい者の社会参加、地域社会との交流を目的とする「スポーツ交流プロジェクト」を推進しました。

#### (1)スポーツ競技会・講習会・体験会の開催

- ①高齢者スポーツの振興や健康増進を目的とするNSP主催のグラウンド・ゴルフ大会には栃木県内外から900人近い方々に参加いただきました。
- ②2026年3月にJリーグ3部・栃木SCを招き、NSPで地元大田原市の小学3・4年生の選手110人を対象に「栃木SCサッカークリニック」を開催しました。
- ③戸田では2026年3月に東京海上日動社ボート部員及びボート部OBがコーチとなりスペシャルオリンピックス日本・東京のアスリートを対象とした「ボート体験会」を開催しました。アスリートとそのファミリー3組・7人に参加いただきました。

### (2)スポーツ関連ボランティア活動

#### ①交流会等の開催支援

「青少年の育成」や「地域社会との交流」を目的に、東京海上日動社サッカー一部は児童養護施設の児童・職員 24 人にサッカー交流会を実施し、バレーボール部は都内近郊の児童養護施設が参加する大会で技術指導の他、運営に協力しました。バスケットボール部の活動地域内小学生との交流会参加やオーケストラ部定期演奏会（約 1,300 人の来場者）の募金活動等を支援しました。

#### ②全国JOCジュニアオリンピックカップ水泳競技大会ボランティア活動支援

同大会は東京海上日動社が特別後援しており、アクアティクスセンターで開催された夏季・春季の東京予選会と本大会において東京海上グループからボランティアを募集し大会運営の支援を行いました。4回の大会を通じて計17人の社員がボランティアとして参加しました。

### 3. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

スポーツ・教育以外の NSP や戸田の利用を収益事業として推進しました。

#### (1)東京海上グループ社員、OB・OG 向け準保養施設としての役割

東京海上日動社へはベネフィット・ワン経由で NSP の宣伝・告知を行い、グループ 7 社の人事・総務ラインに福利厚生施設として利用案内を行いました。グループ各社のイントラネットへ NSP チラシ・利用案内を掲載いただき、新入社員研修で紹介いただく等の協力を得ましたが、OB・OG を含めて宿泊利用者は 498 人（前年比 80.5% ▲105 人）と減少傾向が続いています。

#### (2)OTA による NSP 宿泊プラン販売

2024 年 10 月より一般個人客向け販路として OTA で宿泊プラン販売を始めました。サイト上で様々な施設の宿泊プランを比較し予約とキャンセルを繰り返すことから自社システムに予約の確定・取消入力をするフロント G 職員に負担が生じています。またビジネスでの素泊り利用が全体の 70%を占める等の課題が浮き彫りになりました。試行前に懸念された OTA 宿泊者の施設利用に特段の問題は今期も見られず宿泊利用者は 120 人（前年比 521.8% +97 人）、売上は 151 万円（前年比 375% +111 万円）となりました。

# 報告事項 1

## 【収支予算】

評価損益は除く (単位:円)		2024年度 実績	2025年度					
			予算	実績	前年比	増減	予算比	増減
経常 収益	収益(収入) 合計	188,435,441	327,150,000	275,217,082	146.1%	86,781,641	84.1%	-51,932,918
	事業収益(収入) 計	168,688,935	206,040,000	174,467,721	103.4%	5,778,786	84.7%	-31,572,279
	那須スポーツパーク	145,585,552	183,400,000	150,624,393	103.5%	5,038,841	82.1%	-32,775,607
	戸田艇庫	20,185,767	19,728,000	20,765,706	102.9%	579,939	105.3%	1,037,706
	スポーツ交流プロジェクト等	2,917,616	2,912,000	3,077,622	105.5%	160,006	105.7%	165,622
	運用収益(収入) 計	19,746,506	121,110,000	100,749,361	510.2%	81,002,855	83.2%	-20,360,639
	特定金銭信託収益	-6,563,197	92,000,000	66,739,960	-	73,303,157	72.5%	-25,260,040
その他(自主運用)	26,309,703	29,110,000	34,009,401	129.3%	7,699,698	116.8%	4,899,401	
経常 費用	費用(支出) 合計	321,699,122	341,781,752	320,006,800	99.5%	-1,692,322	93.6%	-21,774,952
	那須スポーツパーク	256,264,407	272,658,167	252,961,340	98.7%	-3,303,067	92.8%	-19,696,827
	戸田艇庫	17,184,862	18,958,305	16,757,234	97.5%	-427,628	88.4%	-2,201,071
	本部	48,249,853	50,165,280	50,288,226	104.2%	2,038,373	100.2%	122,946
経常 収支	経常収支 合計	-133,263,681	-14,631,752	-44,789,718	33.6%	88,473,963	306.1%	-30,157,966
	那須スポーツパーク	-110,678,855	-89,258,167	-102,336,947	92.5%	8,341,908	114.7%	-13,078,780
	戸田艇庫	3,000,905	769,695	4,008,472	133.6%	1,007,567	520.8%	3,238,777
	本部	-25,585,731	73,856,720	53,538,757	-	79,124,488	72.5%	-20,317,963
法人税等	221,400	221,400	1,412,100	637.8%	1,190,700	637.8%	1,190,700	
評価損益等調整前経常損益	-133,485,081	-14,853,152	-46,201,818	34.6%	87,283,263	311.1%	-31,348,666	
内、減価償却費	41,052,269	41,219,792	37,380,222	91.1%	-3,672,047	90.7%	-3,839,570	
減価償却前損益	-92,432,812	26,366,640	-8,821,596	9.5%	83,611,216	-	-35,188,236	

## 4. 経常収益(収入)

### (1)事業収益

- ①NSP は宿泊利用の最大ウェイトを占めるスポーツ・教育合宿で単年利用(前期利用団体が今期利用しない)4,000 人分の減収を新規利用 2,700 人分の売上で埋めることが出来ず今期から一般客・ベネフィット・ワン会員宿泊料金を値上げしたものの、建物施設使用料は前年を下回りました(5,570 万円 前年比 99.2% ▲46 万円)。一方で運動施設使用料金は今期から実施した値上げにより 470 万円増収し、事業収益合計で 1 億 5,062 万円(前年比 103.5% +503 万円)を確保しました。
- ②戸田の宿泊利用料は前年並みながら、東日本医療系レガッタ、東大・京大定期戦の戸田ボートコース開催により前期に続いて貸艇料(前年比 136.7%、+46 万円)が大幅に増え運動施設使用料全体で 811 万円(前年比 107.5% +56 万円)と 2 期連続で過去最高売上を更新しました。
- ③今期のスポーツ交流プロジェクト収入は東京海上日動社からの寄付金のみでした。東京海上グループ社員や部活動が実施した 10 回のスポーツ関連ボランティア活動の支援に活用しました。

### (2)運用収益(保有株の評価損益を除く)

トランプ政権の様々な政策や軍事行動により株価は乱高下したものの、特定金銭信託の運用収益で 6,673 万円を確保し、預金利息と保有株式の自主運用収益は 3,400 万円となりました。運用収益合計で 1 億 74 万円となりました。

## 5. 経常費用(支出)

### (1)NSP

- ①環境省の要請による低濃度 PCB トランス処理(38 万円)や変圧器漏洩防止、収集運搬代(18 万円)、老朽化による浴槽排水ポンプ配電設備の修理等が相次ぎ、不動産修繕費が大幅に増加しました(1,119 万円 前年比 126.3% +233 万円)。
- ②前期(50 万円/月)に続き今期もレストラン業務委託費(固定人件費)を 10 万円/月削減し、グラスワインの販売や人気つけ麺ブランドとのコラボランチメニュー等を提供した結果、レストラン事業で 1,080 万円(前年比 104.9% +50 万円)の収益が上がりました。
- ③宿泊利用者が大幅に減少した(前年比▲1,064 人)結果、変動費である委託費(旅行社への手数料等を含む)や光熱水道費、クリーニング費が前期を下回りました。また期中に退職や定年を迎えた職員がおり、給料手当が前期を 207 万円下回りました。

### (2)戸田

給排水管劣化による水漏れが 7 月以降発生せず不動産修繕費は前年比 53.5%水準に抑えられました。閑散期平日休館日を増やしたことで管理人業務委託費(845 万円 前年比 93.2% ▲61 万円)も抑えられましたが、貸艇増加に伴う故障・破損による動産修理費が大幅に増えました(68 万円 前年比 215.0% +36 万円)。

## 報告事項 1

### 6. 経常収支

NSP は前期の経常収支よりも赤字額を 834 万円縮小し▲1 億 233 万円としましたが、戸田と本部(運用収益等)の収益でその額を埋めることは出来ず、財団合計で予算(▲1,463 万円)に 3,000 万円程届かない▲4,478 万円となりました。

### 7. 減価償却前損益

キャッシュアウトさせないために収支均衡を目指してきた減価償却前損益は▲882 万円となり、黒字化までもう一步の水準となりました。

引続き収支改善に取組み、減価償却前損益の黒字化を目指します。

### 8. 設備投資

(単位:円)	2024年度 実績	2025年度			
		予算	実績	前年比	予算比
NSP	11,859,728	17,340,000	7,796,774	65.7%	45.0%
戸 田	919,191	2,500,000	200,000	21.8%	8.0%
本 部	0	570,000	195,000	-	34.2%
合 計	12,778,919	20,410,000	8,191,774	64.1%	40.1%

#### (1)NSP

柱上変圧器、高圧変圧器交換(300 万円)や予約システムの改修(111 万円)、施設グループで使用する 2t ダンプ(204 万円)等を購入しました。高圧ケーブル電線交換(コテージ側 700 万円)は予算化し今期の工事を予定していましたが、施工業者が高圧ケーブルを仕入れることが出来ず、来期に繰り越しとなりました。

#### (2)戸田

厨房に設置していたガス給湯器が故障し、修理に必要な部品が既に製造中止となっていたため、新しい厨房用ガス給湯器一式(20 万円)を購入しました。

#### (3)全体

本部でノートパソコン一式を買い替えたものの、財団全体では NSP の高圧ケーブル電線交換工事の施工が来期以降となり、戸田でもナックルフォア中古艇の出物が無かったことから予算比 40.1%の費消に留まりました。

## 報告事項 1

### Ⅲ 庶務の概要 (社名・団体名・役職略記、敬称略、順不同)

#### 1. 役員に関する事項 (2026年6月15日現在)

役名	氏名	就任年月日	担当職務	報酬	常勤 非常勤	当法人以外の現職・経歴
理事	隅 修三	2025.6.19 重任	理事長	無	非常勤	東京海上日動相談役
同上	古川雅晴	2025.6.19 重任	常務理事	有	常勤	元東京海上日動東東京支店長
同上	岡松武司	2025.6.19 重任	区分無し	無	非常勤	スペシャルオリンピックス日本・東京会長
同上	功刀 浩	2025.6.19 重任	同上	無	非常勤	医療法人永寿会 恩方病院 病院長
同上	崎山裕司	2025.6.19 重任	同上	無	非常勤	東京海上ホールディングス専務
同上	竹内健蔵	2025.6.19 新任	同上	無	非常勤	東京女子大学現代教養学部教授
監事	中村 勇	2025.6.19 重任	法令及び 定款に記載 された職務	無	非常勤	静岡銀行社外監査役
同上	遠藤 寛	2025.6.19 新任	同上	無	非常勤	ジェネレーションパス社外取締役

理事長・常務理事を除き順不同

#### 2. 評議員に関する事項 (2026年6月15日現在)

役名	氏名	就任年月日	担当職務	報酬	当法人以外の現職・経歴
評議員	永野 毅	2022.6.21 重任	評議員 会長	無	東京海上日動相談役
同上	今野由梨	2022.6.21 重任	区分無し	無	ダイヤル・サービス社長
同上	東條和彦	2022.6.21 重任	同上	無	三菱商事顧問
同上	小室正紀	2022.6.21 重任	同上	無	慶應義塾大学経済学部名誉教授
同上	各務謙司	2022.6.21 新任	同上	無	カガミ建築計画代表
同上	高野紀元	2023.6.27 新任	同上	無	元在ドイツ特命全権大使
同上	高瀬英明	2023.6.27 新任	同上	無	三菱 UFJ 銀行副頭取
同上	北沢利文	2023.6.27 新任	同上	無	東京海上日動相談役
同上	中村篤志	2024.6.17 新任	同上	無	明治安田生命副社長
同上	守山 聡	2024.6.17 新任	同上	無	東京海上日動常務

#### 3. 職員に関する事項 (2026年6月15日現在)

職務	氏名	就職年月日	担当事務
職員	濱田勝博	2023.4.1	事務局長
同上	酒井浩一郎	2018.4.1	那須スポーツパーク支配人
同上	高橋秀典	2017.4.1	那須スポーツパーク副支配人

主な職員のみ記載

## 報告事項 1

### 4. 理事会に関する事項

開催月日	議 題	摘 要
2025 年 6 月 4 日	<p>【決議事項】</p> <p>(1) 「第 15 期 事業報告(案)及び決算書類」承認の件            (2) 「定時評議員会招集」承認の件            (3) 「2025 年度 金融資産運用方針」誤記載の件</p> <p>【報告事項】            那須スポーツパーク 年度別利用者数及び事業収入実績</p>	<p>原案可決            原案可決            原案可決</p>
2026 年 3 月 2 日	<p>【決議事項】</p> <p>(1) 「2026 年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資計画(案)」承認の件            (2) 「2026 年度金融資産運用方針(案)」承認の件            (3) 「2026 年度基本財産及び特定資産の設定(案)」承認の件            (4) 「基本財産処分(案)」承認の件</p> <p>【報告事項】</p> <p>(1) 2025 年度活動概況            ① 事業計画 ②収支予算 ③設備投資 ④スポーツ交流プロジェクト            ⑤ その他 次回定時理事会日程 等</p>	<p>原案可決            原案可決            原案可決            原案可決</p>

### 5. 評議員会に関する事項

開催月日	議 題	摘 要
2025 年 6 月 19 日	<p>【決議事項】</p> <p>(1) 「第 15 期 決算書類(貸借対照表、正味財産増減計算書並びにこれらの附属明細書、財産目録)」承認の件            (2) 「第 16 期 基本財産処分」承認の件            (3) 「任期満了に伴う理事、監事選任」承認の件</p> <p>【報告事項】</p> <p>(1) 第 15 期 事業報告            (2) 第 16 期 事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資計画            (3) 第 16 期 金融資産運用方針            (4) 第 16 期 基本財産及び特定資産の設定</p>	<p>原案可決            原案可決            原案可決</p>

### 6. 許可、認可、承認、証明に関する事項

該当ありません。

### 7. 表彰に関する事項

該当ありません。

### 8. 附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成していません。